

## 平成 30 年度狂犬病予防注射業務関係者研修会の開催

平成 30 年度狂犬病予防注射業務研修会が、11 月 9 日新潟県自治会館で開催され、関係者が 166 名参加した。最初に宮川保県獣会長の開会挨拶があり、狂犬病注射等数が減少するなか、注射実施獣医師の不注意な行いが与える一般市民への影響に対して苦言を呈され、また担当獣医師がよりいっそう動物や飼い主に対して優しい対応をとるようにと注意喚起が行われた。次に阿部健博様新潟県福祉保健部生活衛生課課長の挨拶を頂いた。その後、今年は講演が先に行われ、講師は昨年と同様に大阪府獣医師会長佐伯潤様（くずのは動物病院院長）から「狂犬病は怖い?!」という題で行われた。2006 年に起こったヒトでの輸入症例が時系列で報告され、医療機関での対応などが細かく説明された。また犬の症例、猫の症例についても症状を中心に細かく講演された。研修会後半の行政説明では、新潟県生活衛生課の遠山潤副参事から「ヒトとペットの災害対策」という題で講演があった。過去の災害時に新潟県で行われた愛玩動物の保護対応と今後の同行避難を念頭に置いた避難対策が述べられた。また災害時に新潟県、新潟市、獣医師会、動物愛護協会からなる救済本部が立ち上がったときにそれぞれの団体の担う役割も述べられた。新潟県の狂犬病発症時対応指針も現在作成中で今年度中には完成する見通しと最後に報告された。閉会の挨拶は、樺沢與志園県獣副会長理事によって行われ今年の研修会は終了した。



講演される佐伯 潤 先生



行政説明 遠山潤副参事